

## 国際熱帯木材機関（INTERNATIONAL TROPICAL TIMBER ORGANIZATION）



# ニュースリリース

### 世界的森林製品企業、国際機関がグローバル・グリーンサプライチェーンを推進するネットワークを創設

上海（中国）、2019年10月27日：森林企業、木材連合、政府および政府間組織が一堂に会した国際フォーラムで、森林が経済面、社会面、環境面で持つ価値の認識と林業の全工程への合法性と持続可能性の導入を通じて森林の価値を高めるため、森林経営者、生産者、取引業者、加工業者および消費者間の自主的なネットワークを立ち上げることで合意がなされました。

合法かつ持続可能なサプライチェーンに向け共に活動することに積極的な林産品企業や森林産業に関わるその他の人々の連合によって運営されるグローバル・グリーンサプライチェーンネットワーク（GGSC Network）に対し、企業は「森林産業の持続的な振興を促し世界の森林資源の保全と持続可能な利用を後押しするためのグローバル・グリーンサプライチェーンの協力ネットワーク」の創設への協力をプレッジする声明の中で支援を表明しました。このネットワークには生産国やサプライチェーンの過程の利害関係者から最終製品の消費者まで関心があれば世界中のどのような関係者も参加することができます。

本国際フォーラムには、熱帯木材産業および貿易の代表的な人々など 350 人以上が出席しました。

本フォーラムの主導共催団体である ITTO は持続可能な森林経営（sustainable forest management：SFM）の促進と合法・持続的な供給源からの熱帯木材の貿易の拡大と多様化を使命に掲げています。合法かつ持続可能なサプライチェーンプログラム（Legal and Sustainable Supply Chains Programme：LSSC）を通じて GGSC イニシアティブの運営を支援しています。ITTO の他、中国木材・森林製品流通協会（China Timber & Wood Products Distribution Association：CTWPDA）、国際熱帯木材技術協会（International Tropical Timber Technical Association：ATIBT）および中国国家林業局国際林産物貿易センター（Centre for International Forest Products Trade：CINFT／National Forestry and Grassland Administration of China：NFGA）の 3 機関が共催しました。この共催 4 団体は GGSC ネットワークの設立と運営を支援しこの円滑な実施に積極的に関与しています。

ATIBT 会長のロバート・ヒューニク氏は、グローバル・グリーンサプライチェーンの発展により、熱帯木材を含めた合法で持続可能な木材と林産物の生産、加工、流通、消費が伸展するでしょう、と述べました。

「その過程で、熱帯地域の政府や森林所有者から最終消費者まで、全ての利害関係者に恩恵をもたらし、世界が抱える喫緊の課題の解決にも寄与するでしょう。」

フォーラムの参加者に対して、世界は気候変動、森林減少、種の絶滅、砂漠化といった前例のない環境問題に直面しているとの話がありました。

ITTO 議長のジョン・リー氏は次のように述べました。森林、特に熱帯林は、生物多様性において秀でており、気候変動緩和の取組にとって非常に重要であり、先住民や伝統的な生活を営む人々にとっては文化的に大きな意味を持っていることは周知の事実です。

「森林が生育する土地は農業、放牧、採掘業、都市開発にとっても有益です。従って森林の損失リスクを減らすためには森林が収入、雇用、生計、開発全般に実質的な経済便益を創出することが不可欠です。このため我々はグリーンサプライチェーンを整え、持続的に経営されている森林で収穫された合法で持続可能な木材を国内でも海外でも安定して供給する必要があるのです。」

フォーラムの参加者は、気候変動を緩和するためにどのように木材産業の役割を活用するか、世界中で増加する木材製品需要、世界の木材のサプライチェーンで合法性と持続可能性を確保するための取組、どのようにグローバル・グリーンサプライチェーンの発展を進めるかを主に議論しました。

CTWPDA の主任専門家であるジュー・グアンチエン氏の発言は次の通りです。グリーンな木材サプライチェーンが世界的に取り入れられるために木材産業は多くの課題を克服しなければなりません。産業全体でのパートナーシップの精神が求められており、最終的に関係者全てが恩恵を受けるでしょう。

GGSC ネットワークは、ノウハウの共有や事業・技術協力の拡大によって、世界のサプライチェーンの全パートナー間のより緊密な協力と情報交換を促します。

「国際フォーラム：グローバル・グリーンサプライチェーンを共に目指して」はドイツ連邦食料・農業省（Federal Ministry of Food and Agriculture of Germany : BMEL）の資金協力を受けました。この他、EU、国連食糧農業機関（FAO）、フランス開発庁（French Development Agency : AFD）、ドイツ復興金融公庫（German Development Bank : KfW）、英国国際開発省（UK Department for International Development : DFID）、中国グリーンカーボン基金 China Green Carbon Foundation : CGCF）、CTWPDA 硬材分科委員会（CTWPDA Hardwood Sub-Committee）、上海木材貿易協会（Shanghai Timber Trade Association : STTA）および GGSC 事務局も本フォーラムを支援しました。